

平成23年度倫理審査委員会申請一覧

	受付年月日	申請年月日	課 題 名 及 び 概 要	職 名	氏 名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)
1	H23.7.5	H23.7.5	神経変性疾患患者への摂食・嚥下リハビリテーション臨床パスの開発および利用に関する研究2-摂食・嚥下リハビリテーションによる栄養摂取方法の変化と関連要因に関する調査- H22年度厚生労働科学研究「障害者歯科におけるEBM確立を目的とした臨床パスの開発および利用に関する研究」の一環として行う研究で、摂食・嚥下リハビリテーション部門の神経変性疾患患者に対するパス作成を目的	歯科医師	松尾 浩一郎	11/14	特段の問題はないので承認とする。	H26.3.31
2	H23.11.10	H23.11.10	薬剤性間質性肺疾患の発症に関連するバイオマーカーの探索 薬剤性間質性肺疾患の発症に関連するバイオマーカーとなる遺伝子多型を明らかにする。	呼吸器外科医長	近藤 竜一	11/14	特段の問題はないので承認とする。	H28.9.1
3	H23.11.10	H23.11.10	呼吸器外科手術における自動縫合器安全性に関する実態調査 他施設共同研究として後ろ向きに疫学調査を行い、呼吸器外科手術における自動縫合器の各種別、組織別の安全性を調査する。	呼吸器外科医長	近藤 竜一	11/14	特段の問題はないので承認とする。	H24.5.31
4	H23.11.14	H23.11.14	粘膜病変を伴う水疱性類天疱瘡の兄妹例における遺伝子解析 本症例は希少なケースであり、HLA遺伝子解析を行い遺伝子的背景を検討し、DNAを単離保存し遺伝子の変異等を検討する。	皮膚科医長	新倉 冬子	11/14	特段の問題はないので承認とする。	H24.10.31
5	H23.11.14	H23.11.14	蕁麻疹患者に対する第2世代抗ヒスタミン薬の使い分けによる症状改善や満足度に及ぼす影響 慢性特発性蕁麻疹に対し、第2世代抗ヒスタミン薬の中で「効果の高さを特徴とした薬剤」と「眠気の発現の少なさを特徴とした薬剤」に分類される代表的な2薬剤を処方し、治療前の重症度が治療効果と患者満足度に及ぼす影響を調査し、また、薬剤の治療効果と治療満足度に痒みの程度がどのように関係しているのかを調査する。	皮膚科医長	新倉 冬子	11/14	特段の問題はないので承認とする。	H24.3.31
6	H23.11.14	H23.11.14	術後患者に対するアロマセラピーによる安眠効果の検証に関する研究 不眠の改善方法として一般的にアロマの使用が検証されていることから、術後1日目から3日目に対してアロマを使用し、更なる安眠効果を検証する。	看護師	吉澤 知未	11/14	特段の問題はないので承認とする。	H24.10.31